

第3回学校運営協議会議事録

○日時 令和7年2月8日(土) 13:30～

○場所 立江小学校 校長室

○委員 池淵 彰 様, 垂水 明 様, 森本 利雄 様,
江崎 敬 様, 浅利悦史 様, 高原校長・椽勢教頭の7名

○次第

1 開会

2 学校運営協議会 会長あいさつ(池淵会長様)

3 学校長あいさつ(高原校長)

4 協議

(1)令和6年度学校評価について

校長よりそれぞれのアンケート結果について説明

①web回答についての確認(対象・質問内容・回答方法等)

②読書について

- ・「よく読んでいる」がどの程度か分かるように、選択肢に冊数を入れてはどうか。
- ・校内で「多読賞」に取り組んでいるようだが、読んだ冊数だけでなく、感想や印象に残った場面や言葉などを紹介することも評価の一つにしては。
- ・市立図書館の積極的な活用も今後継続していきたい。
- ・本校に限らず、他校においても同じような課題が生じていると考えられる。市内の学校で共通した質問により検証してみてもどうか。

③E項目「よくわからない」に回答した保護者が多い。テストの点数は数字として表れているけど、指導の様子や学校生活の様子についての質問は評価しづらいと考えられる。

④統計的に分母が少ないので振れ幅が大きい。数字を見て一喜一憂する必要はない。学年の中で細かく分析していくことにより、見えてくる物があるだろう。

⑤分からないことを質問する児童の割合が毎年課題になっているようだが、分からないことを解決する方法としてAIの活用も一つとして考えてもよいのでは。AIによって気軽に解決できた数も関心がある。

⑥あいさつについては、リーダーとなる子を育てることによって他の子にも良い影響を及ぼすだろう。他学年との交流も増やしながら。

⑦子どもの宿題を見ていると、PCの世の中になってからか数の概念が低くなっているような気がする。物の大きさや長さ、重さなど画面を通して学ぶのではなく、実物を見たり触ったりする活動も大切にしていきたい。

⑧業務改善や休みの取り方については、学校だけでなく企業や他の職業においても「仕事の魅力」として重要である。

- ・年休の取得率が低い傾向があるので、休みを取りやすくする工夫を考えたい。
- ・業務改善については、児童数・職員数・世帯数の減少にともない、行事の効率化

をはじめ教育活動の見直しをしていく必要がある。しかしながら、毎年同じような調査や一人以上の参加を義務づけられる出張が多いことが負担となっている。

(2) 行事予定について

① 運動会の日程について

- ・熱中症対策として10月の18日(土)か19日(日)を予定している。
- ※9月は下旬頃まで暑さ指数が31を上回り、健康面の心配や外の活動が制限されたため。

② 修学旅行・遠足について

- ・修学旅行は、日程の中に大阪万博の見学を候補として考えている。
- ・遠足は、令和7年度から榊小との連合で実施予定である。

(3) その他

① しらさぎ橋撤去工事にともなう安全確保、校舎北側の道路整備について

② 勇足小学校との交流: 2~3月に全学年によるオンライン交流を実施する。 龍江小学校(長野県飯田市)との交流: 7月に続き6年生が2回目の交流(手紙交換)を実施予定。今後は、学年を固定して児童の交流を行い、学校だよりをはじめ、学校間での情報交換など、できる範囲で発展させたい。

③ 3月13日の卒業式の確認と来賓依頼。

④ 令和7年度は、1年生8人入学で全児童数52名の予定。学級数に変化なし。 しかし、令和8年度は、学級数が減り職員数も2名減となる予定。 複式解消に向けた人材確保が急務となる。

⑤ 令和8年2月に徳島南部自動車道「立江榊～阿南」開通予定。

⑥ 4月に公民館主催による健康ウォークを開催。小学校運動場を駐車場で使用。

⑦ 飯田市の「桜並木愛護会」の約20名が3月1日(土)、2日(日)の2日間来県予定。 2日の午前立江小学校を訪問し、「誉れ桜」を見学。

5 閉会